

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第173号

5

17. .29

# Ripple

表紙

・地域の人が出会い、つながる場

P3

・活動報告 GMナタネ自生調査／地域活動を確立する会／メイト企画 スープの料理会  
・職員紹介 ・地場野菜

P2

・地域をつなぐワーカーズ・コレクティブ

P4

・私たちのエネルギーを考える！  
・エコロ給付状況報告  
・子育てひろば案内  
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

## 地域の人が出会い、つながる場

年を重ねても、障がいがあっても、自分らしく暮らし続けるのに必要なのは食事や洗濯等の身の回りの支援だけではありません。人と出会い、つながるといことがなければ心豊かに暮らしていくことはできません。NPO法人ワーカーズ・コレクティブはんどは2014年5月より、富田林市梅の里で「Handカフェ・梅の里」を運営されています。そこでは地域に暮らす人たちを巻き込んで、出会い、つながる活動がおこなわれています。（聞き手:福祉担当常務理事 吉田 正美）

Handカフェスタッフ勢揃い



### Handカフェ・梅の里

(後列左から)

山口 節子さん

平岡 亜紀子さん

服部 歩美さん

山口 美幸さん

(前列左から)

川原 奈津美さん

真野 愛子さん

### 誰もが集いやすい場所

吉田 Handカフェにはどのような人が来店されますか？

山口(美幸) 高齢者、障がい者、お子さん連れのママなど、地域のいろんな人たちがいらつしやいます。皆さん食事をしに来られるのですが、「話を聞いて」と来られる人も多いです。介護のことや、子育てのことや、いろんなお話を聞きます。スタッフが経験談をお話することもあります。

### Handカフェでつながる、Handカフェがつける

吉田 いろいろな交流イベントもされていますが、どのようなことを目指されていますか？

川原 Handカフェでおこなっている落語会やみそ作りなどの交流イベントは、たくさんの人に

来てもらうのが一番の目的ではありません。Handのスタッフだけではみんなを助けることはできないから、参加した人同士が顔見知りになって、何かのときに助け合うことができたらいいなと思って交流の場をつくっています。

### ワーカーズ・コレクティブだからできる

吉田 個人経営のカフェが多い中、なぜワーカーズ・コレクティブの事業としてカフェをしようと思ったのですか？

山口(節子) 個人経営はオーナーの意思や都合で物事が動きます。ワーカーズ・コレクティブはチームプレーです。スタッフがみんなが経営者で、みんなが主体者として協力し合うことでお店を続けることができます。それに、生協の枠(生協法)ではできないこともワーカーズ・コレクティブならできるので、生活の近いところで地域の人とつながることができそうです。

### Handカフェを通して、思い描いていた地域づくりを実現

吉田 Handカフェがオープンして3年が経ちますが、これからの展望を聞かせてください。

山口(節子) 「街づくり夢基金」を活用して手すりなどを設置し、誰もが利用しやすいカフェづくりをすすめてきました。ワーカーズ・コレクティブをつくった時に思い描いた、「いろんな人が登場して、参加しながらつくる地域」を、Handカフェを通して少しずつ実現できていると感じています。「今日はHandカフェへ行つて草取りをしよう」、「今日は〇〇さんとHandカフェにランチに行こう」、Handカフェが地域の人たちの「今日行くところ」になったらいいと思っています。



藤澤さん

ケガをしてリハビリでカフェの前を通るようになり、顔見知りになって通うようになりました。歩行のリハビリなどをほぼ毎日していますが、Handカフェはやすらぎの場です。理想的なスタッフの皆さんで、気にかけてくださることが励みになります。

つるちゃん先生

Handカフェではおいしくて安心な食事を食べることができる。そして、ここに来るといつでも知り合いに会え、ご近所の人とつながりをつくることができます。それが楽しいからHandカフェによく来ています。



Handカフェに集う人たち

たいと思います。

吉田 Handカフェでは「地域の人をつなげる」役割を担い、「地域に根ざす」ワーカーズ・コレクティブを体現されており、これからは一緒に街づくりをすすめていく良きパートナーでありたいと思います。このような取り組みを他の地域にも広げていきたいと思っています。

犬山先生(社会福祉法人 桃花塾)

障がいのある利用者や外食する時、他の飲食店だと気をつかうし、利用者の人たちも緊張してしまう。けれど、Handカフェではゆっくり食事ができるのがいい。古くから付き合いのあるところはあるけれど、Handカフェとは実際の距離も近いが、気持ちの上でも近い付き合いができていますよ。

※Handカフェでは桃花塾(障がい者・児支援のための施設)の利用者が栽培した新鮮な野菜を材料に使用し、店頭で販売している。定期的に交流会もおこなっている。



ウッドデッキから桃花塾を見た景色



はんどプレートランチ



ワーカーズ・コレクティブの  
地域交流事業

「ほーぷ」と「はんど」の  
地域交流事業紹介

# 地域をつなぐワーカーズ・コレクティブ

緑に囲まれ・味わい・語らい・学び合う・  
障がい・年齢を超えて集う空間

## 「Handカフェ・梅の里」

●NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ はんど  
富田林市久野喜台1-24-2 TEL 0721-29-8333

●Handカフェ・梅の里  
富田林市梅の里1-3-5 TEL 090-6556-4635

<事業内容> 介護保険事業、介護保険外のお手伝い(家事・介護・  
保育・その他)、Handカフェ・梅の里

<ホームページ> <http://hand.daynight.jp/>

<Facebook> <https://www.facebook.com/Npohand>



はんどカフェ外観

Handカフェを見学する前は、地域交流事業とはHandカフェでおこなわれているイベントのことだと思っていました。実際にHandカフェでお話を聞いてみると、Handカフェ自体が地域交流事業であることに気づきました。Handカフェは、ワーカーズ・コレクティブはんどが、生活になくは困る「食」を通して地域交流に取り組んでいるのだと理解できました。

メニューの内容も素晴らしいのですが、なんといっても「集う空間」が特徴的だと思いました。例えば、重度心身障がい者の方やデイサービスに通っている方がHandカフェで食事をされる際の、カフェスタッフの対応の様子を見ることで障がい者と接することに慣れていない方も自然と接し方を知る機会となり、障がい者もそうでない方も同じ空間で、安心して

おいしく食事をいただける空間になっています。

この「集う空間」は、ある人にとっては誰かとつながる場所であり、ある人にとっては話を聞いてもらえる場所であり、またある人にとっては仕事後の気持ちを切り

替えるための場所となっています。地域の方に必要とされる場所になってきているなと感じました。

福祉委員(南河内地域委員)

木村 恭子

梅の里に住む落語家さんに来てもらって  
寄席をした時は、地元の人でカフェがいつ  
ぱいになりました。イベントは告知のポス  
ティングをしたり、打ち合わせをしたり大  
変ですが、やりがいを感じています。  
\*Handカフェ スタッフ

お年寄りから赤ちゃんまで誰でも集える場所

## 「ほーぷサロン」

●NPO法人 福祉ワーカーズ ほーぷ  
堺市南区竹城台3-4-3 TEL 072-291-7487

<事業内容> 訪問援助事業、介護保険事業、地域交流事業、子育て  
支援事業

<ホームページ> <http://i-hope.info/>

<Facebook> <https://www.facebook.com/izumigaokahope/>

ほーぷサロンは、地域に住む方ならお年寄りから赤ちゃんまで誰でも集える場所です。ほーぷでは「地域みんなの居場所が必要」と考え、2003年より交流の場を設けてきました。現在はクリニックだった建物を改装したほーぷサロンを使って、歌や麻雀、吹き矢、俳句、手芸など、いろいろなサークル活動をおこなっており、その他にもアロマやネイルなどの教室も開催しているそうです。講師はボランティアの方が多く、そのおかげで参加費は安く抑えられています。ボランティアスタッフは生協の活動を経験された方や、ほーぷのスタッフが兼任したりとさまざまです。



ほーぷサロン外観

私たちが取材に伺った日は歌サークルの活動日でした。ボランティアの方々がお茶の準備や楽譜の用意をされており、開始時間が近づくと、60～90歳代の方が続々と集まって来られました。参加者のほとんどが歩いて来られたご近所の方で、皆さんオシャレで、ハツラツとされていました。ゆったり座ったままピアノの伴奏に合わせて、みんなで歌います。曲の合間はもちろん、終わってからも参加者同士でお話が弾んでいました。11年前からずっと通っている方もおられるようで、「ここに来ると元気になる。毎回楽しみです! 前日から明日は何を歌おうかと考えています」と、笑顔で話されていたのが印象的でした。ほーぷサロンが地域の集える場所として根付いていることを実感することができました。

福祉担当理事(堺市街地地域理事) 南楚 美可



「自分の行く場所があるのはいいですね」とボランティアの方たち

## スタッフの声

スタッフの話すその表情からはそれぞれの活動をいきいきと楽しんでいる様子が伝わってきました。

自分の行くところがほしいと思ってボランティアに関わるようになりました。ほーぷサロンに来られるのはいい人たちがばかりで、ここに来るのが楽しみです。

\*ほーぷサロン ボランティア



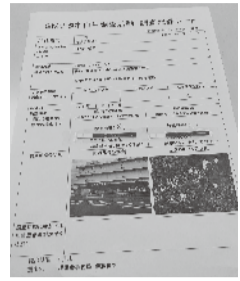
落語会  
梅の里の人がたくさん来てくれました

### 環境委員会 GMナタネ 自生調査

3月下旬～4月初旬

泉北ニュータウン理事  
庄野 明子

精製油や飼料の原料として使われる輸入ナタネ(菜の花の種子)の多くはGMナタネです。輸入港から工場などへ運ぶ道中にGMナタネがこぼれ落ち、自生することで在来ナタネと交雑し環境汚染を起こすことが懸念されています。状況を把握するためGMナタネ自生調査を毎年実施しています。



## 2017年度 遺伝子組み換え(GM)ナタネ 自生調査を実施しました

とでした。

そこで、今年度の自生ナタネ採取は、工場周辺ではなく輸送トラックの往来する幹線道路とし、大阪南港沿岸・貝塚市・岸和田市、南河内郡太子町付近の4カ所でおこないました。交通量が多く容易に近づけない所に咲いていて採取するのも大変でしたが、環境委員会で4検体、6地域委員会で1検体ずつの計10検体を採取しました。簡易DNA検査をおこなったところ、全検体がGMナタネではありませんでした。

毎年、「GMナタネ自生調査全国報告集会」で調査をまとめた報告があります。全国的には在来ナタネとの交雑が輸入港付近だけでなく内陸部にまで拡大している地域があり、農作物との交雑も報告されています。今後もGMナタネの自生拡大を防ぐため、府内の調査を継続し、全国的な活動として協力しながらすすめていくことが必要だと思えます。

環境委員会では、エスコープ大阪エリア内の製油会社3社と飼料会社2社に輸入ナタネの取り扱いがあるかを問い合わせました。飼料会社ではナタネの取り扱いはなく、製油会社2社では搾油した後、製油会社1社のみナタネから搾油していると回答がありました。原料は西オーストラリア産のNON-GMナタネで、こぼれ落ちないようにも対策しているとのこと。

### 河内長野・大阪狭山地域 メイト企画 スープの料理会

4月2日(日)  
河内長野市立市民交流  
センター・キックス

河内長野・大阪狭山地域理事  
糸川 江里子

## 「命を養う食」



を参考に、食事が健康を作ることを知るヒントになればと企画されました。当日は、子育て世代からシニア世代まで総勢14名が集まり、野菜たっぷりのミネストローネとなめらかなくちあたりポタージュ、「ウインナークラブ」の豚バラで作るベーコン、サラダ、温野菜を作りました。

スープを作った味わうことでも、もとの食材の力があれば少しの調味料だけで食事がおいしく引き出せることを参加者が実感することができました。辰巳さんは子どもたちが自らの手で、大豆をひと粒ずつ植える運動もされています。料理の原材料を知ること、原材料の育つ環境や生産者に思いを寄せることにつながります。この考えは、消費から生産者、生産地に思いを寄せ、交流する私たちの活動にも通じるものがあります。「食べることは、おいしい! 素晴らしい!」その意味を皆で共有できた1日になりました。

### 河内長野・大阪狭山地域 地域活動を 確認する会

4月19日(水)  
[午前]河内長野市立文化  
会館・ラブリールホール  
[午後]大阪狭山市立コ  
ミュニティセンター

河内長野・大阪狭山地域理事  
浦 和子・糸川 江里子

午前は4名の総代が参加しました。「種の自給」と「種の自給」の違いについて質問があり、「しゅ」は品種のこと、「たね」は種子のことという説明から、エスコープ大阪が取り組んでいる丹精鶏や国産鶏種のため、「菜食ファーム」の毛馬きゅうりなどに話が広がりました。参加者からは主要農作物種子法廃止に対して懸念する声がありました。大きな被害があったにも関わらず原発が再稼働されることへの不安や、熊本地震からの生産者の復興状況に関する質問もありました。



## 初めての参加者からも、 生協への思いがあふれる会に なりました

みであることを共有しました。参加者から「冷蔵の豚ミンチ肉が調理の際にほぐれにくい」との声がありました。トレー入りにすると今よりコストがかかったりゴミが増える結果になることや、調理の前に酒を振ることでほぐれやすくなるなど、組合員同士で知恵を出し合い悩みを解消することができました。初対面でも同じ組合員ということ、さまざまな意見交換ができた有意義で楽しい会になりました。

河内長野・大阪狭山地域では、すでに2017年度の活動として菜食ファームの生産者である大谷さんの畑(河内長野市下里町)できゅうり栽培のお手伝いをしながら交流をスタートしています。皆さんも生産者を訪ねてみましょう。私たち地域委員会が、一緒にします。



※FEC(+W)：食(Food)、エネルギー(Energy)、医療介護・教育(Care)、仕事(Work)を地域で自給・自主管理し、資源と人が循環する地域社会を基盤にし、生活の質の豊かさが一番とする経済社会モデルです。

主催者の奥さんからは、「自分の子育て時代にエスコープ大阪で学び合ってきたことをおしゃべりしながら今回のメイト活動で伝えることができ、楽しかったです。今後も『次世代につなげていきたい食』をテーマに組合員同士で体験しながら伝え合っていきたいです」と感想をいただきました。次回の企画も楽しみにすね。

今後メイトと一緒に組合員活動の輪を広げていきたいと思えます。私たちが一緒に活動してみませんか。

## 時間と愛情をかけて育てた消費材です



森下 隆二(37歳)  
エスコープ大阪在籍年数 11年  
[共同購入フロア 泉北支所]

入協して、早いもので11年になります。妻と3歳の娘、1歳の息子、父と5人で暮らしています。先日、夢のマイホームを建てました(笑)。家はできるだけ国産材を利用して建てました。実際に森林にも見学に行き、林業に携わる方のお話も聞くことができました。植林から伐採、加工までとても時間のかかる仕事だと改めて感じました。例えば樹齢80年の木材は、

80年前に植林され、その木を長年維持管理して今使っているわけです。そう考えると、大変ありがたく思えます。日本の林業は海外の安い建材に押されて、担い手不足や森林の管理不足で大変だそう。近くに優れた木材があるのにわざわざ海外の木材を大量に買っている状況です。食品とも似ている気がします。私たちの「ウインナークラブ」の豚肉の肥育期間は約6.5ヶ月で、一般的な豚の肥育期間に比べ半月ほど長く肥育します。種豚からの繁殖を考えると、長い時間がかかります。時間と愛情をたっぷりかけて育てた消費材です。これからもウインナークラブの豚肉をたくさん食べてください。

## 今年は春夏野菜でもチャレンジ!

### 私たちの『旬菜セット』はね...

『旬菜セット』の充実に向けて始まった、生産者とエスコープ大阪のチャレンジ取り組み。昨年は、白ねぎにチャレンジし、収穫量は少なかつたのですが登録者から高い評価を得ました。今年は春夏野菜でも取り組もうと、「勝間南瓜」「うまいな」「トウモロコシ」にチャレンジします。

のです(交雑を考慮して3年で更新しています)。用土にもこだわり、有機質100%の肥料を自家配合しています。軽くてさらっとした心地のいい土でした。1アールに40株を植え200個の収穫をめざしますが、保険としてあと40株を用意。収穫は7~8月。他のチャレンジ野菜と合わせて隔月で報告します!

勝間南瓜は固定種で、大阪の伝統野菜のひとつです。小ぶりで皮は緑色ですが、熟すと赤茶色になり上品な甘みが増すそうです。3月22日に播種の見学会に仲野さんの畑へ行きました。種は昨シーズンに種取りしたのも

※固定種：代々同じ形質が受け継がれている種で、形質(味や形)が固定されたもの。昔から続く在来種や伝来種は固定種のタイプです。



播種して2週間経ち発芽した勝間南瓜。深緑の大きめの二葉。



私たちのエネルギーを考える!



# 老朽化原発の再稼働を考える

国内の原子力事業でも大手の東芝が経営危機に陥っていることがニュースで取り上げられています。アメリカでの原子力発電事業での損失が大きな原因のようです。2008年より手掛けていた米テキサス州での原発建設が、2011年の東京電力福島第一原発事故をきっかけとした安全基準の見直しなどにより建設コストが膨大になっていくことも一因と言われています。また、福島第一原発の対処で技術

協力を依頼したフランスの世界最大の原子力複合企業アレヴァも10年前にフィンランドで着工した新型の原発建設が技術面の問題から難航し、経営危機に陥っているとのこと。

世界では新規に作る原発でさえ安全基準の強化などで建設が困難になっているとの情報が飛び交う中で、日本では老朽化した福井県の高浜原発(関西電力)の再稼働が認められました。

津波対策の防潮堤も新基準をクリアしたとの判断ですが、稼働後40年で廃炉というルールを超えて発電を続ける高浜原発の安全性は担保できているのでしょうか。新基準は大変厳しいものだと報道されていますが、世界的にも40年を超えて稼働している原発は多くありません。設備の老朽化による影響は稼働させながら見ていくと言っているようですが、不安が募ります。

福島県の原発事故で経験したように、事故が起こった際の被害は甚大です。「日本での老朽化した原発の再稼働は未経験でしたので想定外でした」などでは済まされないうことです。

環境担当常務理事 泉容子

## 原発再稼働で電気料金がほんとは下がる??

関西電力は、高浜原発が再稼働すれば電気料金を下げると宣伝しています。そもそも40年で廃炉にする事業計画で電気料金を試算していたのですから、安全性はさておき老朽化した原発を稼働させれば利益は上がります。原発の発電コスト試算表では福島第一原発事故の対応費用である「事故リスク対応費用」や「核燃料サイクル費用」「追加的安全対策費」が少なすぎるとも言われており、下限が10.1円で、もはや安い電気とは言えません。福島第一原発の事故対策費を電気料金に反映させる仕組みが前例となり、これから大きな事故が起きるたびに電気料金として国民負担させる考えが見えてきます。今安ければ良いという視点で老朽化した原発を稼働させるリスクを負うべきではありません。まずはリスクの少ない電源に、そして環境負荷の少ない再生可能エネルギーへの転換を、みんなの力で進めていきましょう。

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

## おたよりネット

171号表紙 「東日本大震災発生から6年 支援のこれまでとこれから」を読んで

紙面モニター Aさん

6年の間に少しずつ風化していく被災地への支援ですが、現実には子どもたちの甲状腺がんの発生や、線量の高い地域への強制的とも思えるような帰還制度など、本当に支援が必要なのはこれからだと思います。私たち個人の思いを反映させ、息の長い支援を続けたいと思います。

171号4面 「私たちのエネルギーを考える! 住吉川小水力発電所をつくろう」を読んで

紙面モニター Bさん

子どもの頃、住吉川のそばに住んでいて、よく川辺に行って遊んだものでした。自然と共生した小水力発電所でエネルギーの地産地消ができるなら、とてもうれしいです。



### エコロ制度 4月度報告

加入者数 1114名

組合員活動を支えるためのケア	5件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	1件

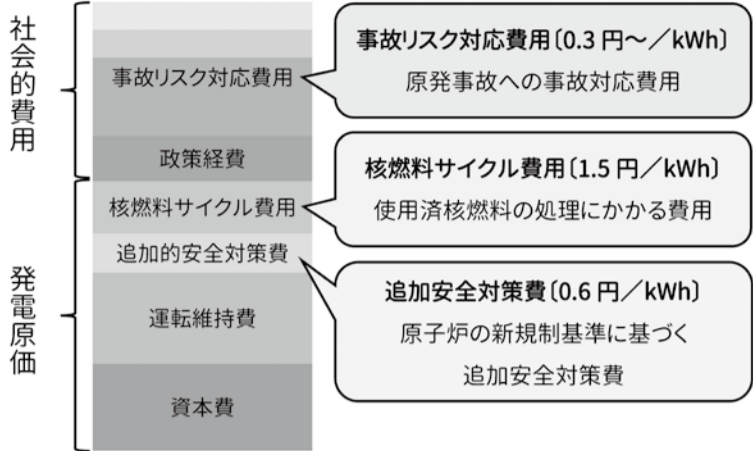


### エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
6月8日(木) 10:00 ~ 12:00	ソフィア堺 (堺市街地地域)
6月14日(水) 10:00 ~ 12:00	大阪狭山市立コミュニティーセンター (河内長野・大阪狭山地域)
6月13日(火) 10:00 ~ 12:00	さつき野東集会所 (南河内地域)
6月7日(水) 10:00 ~ 12:00	岬町望海坂第1集会所 (泉州地域)
6月13日(火) 10:00 ~ 12:00	和泉市コミュニティーセンター (泉州地域)
6月13日(火) 10:00 ~ 12:00	ほーぶサロン (泉北NT地域)

\*開催時間内であればいつでも、帰ってもOK  
\*組合員でないお友達との参加もOK \*事前申し込みは不要  
\*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

### 原子力発電コスト 10.1円~/kWh



### 第11回 理事会報告 <4月28日>

#### 【3月度決算報告】

- 供給高 1億8,087万円 (前年同月比101.75%)
- 組合員数 18,557名(前月比-48)
- 一人あたりの出資金 80,946円

#### 【3月の放射能検査結果】

3月は連合消費材887検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた3月20日検査の生椎茸(丸エビ倶楽部)については供給を中止し、一部を欠品、一部は他の生産者に入れ替えて供給しました(生活クラブ消費材ですがエスコープ大阪では取り扱っていません)。エスコープ大阪独自の消費材については3検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

#### 【決議事項】

- ①(株)生活クラブ関西の役員再任について決議しました。
- ②(株)生活クラブ関西への運転資金(差し入れ保証金)預入の増額について決議しました。
- ③特定非営利法人ワークス・コレクティブはんどの理事就任について決議しました。
- ④エコロ制度の規程・細則の文言変更について決議しました。

#### 【協議事項】

- ①役員推薦について提案があり、協議し、確認しました。
- ②生活クラブ滋賀との役員交流(員外理事の受け入れ)について協議し、確認しました。
- ③2017年度エスコープ大阪総代会議案書(案)について協議し、確認しました。
- ④エスコープ大阪の事業継続計画(BCP)案について協議し、確認しました。
- ⑤全地域委員会統一取り組み「主要課題取り組みの集会」について、目標数と登録呼びかけツールについて協議し、確認しました。
- ⑥生活クラブにおける「飲料水の取り組み方針」について単協意見を協議し、確認しました。
- ⑦2017年度役員研修の開催について協議し、確認しました。
- ⑧2017年度エスコープ・フェスタ(仮)の参加生産者候補と実行委員会体制について確認しました。
- ⑨2016年度年間取り組み「組織活動メンバーを集める」隔月報告と年度まとめ併せてエスチャンネルのまとめ(登録状況)について協議し、確認しました。
- ⑩2017年度甲状腺検査活動の実施について協議し、確認しました。
- ⑪新加入者集会取り組みについて協議し、確認しました。
- ⑫電力小売営業に関する指針改定(案)に対する意見書(パブリックコメント)の提出について協議し、確認しました。

#### 【報告承認事項】

- ①(株)ウイナークラブの役員(取締役)選出について報告があり、確認しました。

#### 編集後記

地元の川沿いに泳ぐ鯉のぼりの群れを見ると「5月やなあ」としみじみ。4月号の編集後記を書いた時からもう1ヵ月。慣れない編集作業に時を忘れます。のびのび泳ぐ鯉にホッと気持ちが緩みました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪  
制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪  
〒590-0151 堺市南区小代727  
TEL. 072-293-4660  
FAX. 072-341-0022  
http://s-osaka.seikatsuclub.coop/